

## 第7回全国高専同窓会連合会総会議事録

日 時：2025年11月15日（土） 14：30～17：00  
会 場：東京中央区晴海 ホテルマリナーズコート東京 2Fホール  
参加者：同窓会 13同窓会  
来 賓 高専機構  
団 体 日本高専・大学支援財団  
参加人数 30名

総合司会：連合会事務局長 朝永憲法 （佐世保高専同窓会）

### 1、開会挨拶

事務局長朝永から事務局を代表して挨拶。

### 2、参加同窓会報告

朝永から参加同窓会並びに来賓と特別参加の日本高専・大学支援財団を紹介。

### 3、会長挨拶

連合会会長の旭川高専同窓会・村上孝志が挨拶。

### 4、来賓挨拶

高専機構理事の梶山正司氏よりKOSENの現状と今後の方向性について資料を基に詳細に説明があった。全国9640名の入学者・内2545名が女子であること、全国平均で1.41倍の競争率であること、多くの企業からの高い評価を得ていることなど。また、進むグローバル化と高度化するニーズに応える必要性からの対策、人口減少の中で志望者減少のリスクを考慮してKOSENの市民への紹介イベントなどを通して入学定員の確保の必要性、ふるさと納税の仕組みを利用した学生支援の財源確保の状況等多岐にわたって紹介された。

### 5、議事

#### ① 活動報告

- ・事務局会議の開催：2024年12月12日に博多にて第6回総会の総括と次年度の活動計画などを討議した。（詳細はHPに）
- ・全国高等専門学校連合会総会に出席：2025年6月24日に一橋講堂で開催された総会に朝永が参加して、同窓会連合会の現状とふるさと納税を利用した学生支援の資金確保の例などを紹介。連合会の参加同窓会增加への協力もお願いした。
- ・ホームページの運営：毎年更新し総会などの活動状況、写真、議事録などを掲載している。

HPアドレス：<http://kosen-dousoukai-rengoukai.net/>

名称：全国高専同窓会連合会

② 会計報告並びに会計監査報告

- ・朝永より 2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日の会計報告。
- ・会計報告に関して監査結果を監事の有明高専有友倶楽部・岡秀昭氏より報告。

(以上の活動並びに会計報告に関して 拍手により承認)

③ 活動計画

- ・役員の変更：各同窓会の役員交代などにより一部変更。(別掲の通り)
- ・ホームページのメンテナンス費の負担について：未払い分 65,945 円の今会計年度での負担の承認。

(上記 2 件について拍手により承認)

・日本高専・大学支援財団との協力について：今回特別参加の支援財団の田中社長及び古谷氏から財団の設立趣旨や支援の現状などについて説明。進学希望の学生に対する支援拡充のためにも各同窓会との連携を図っていききたいとのこと。また、財団の理事長を兼任している田村顧問からも重ねて詳細の説明があった。その後奨学金の支給状況や財団の運営や資金などについて質疑応答があった

- ・各地区における情報交換会について：

九州地区 有明高専同窓会・岡会長；ロボコン地区予選に合わせて毎年開催されているコラボ九州について報告。今年は、事前にアンケートを実施し、取りまとめて今後の活動に資することにした。

四国地区 阿南高専悠久校友会・横手会長；ロボコン地区予選に合わせて今年初めて行われ、四国地区全高専が参加した。また、今後も交換会を継続していくことを決定した旨報告。この会には朝永が参加して学校支援における同窓会の役割やコラボ九州の開催状況、同窓会連合会の状況など説明した。

東京地区 サレジオ高専（育英学院）同窓会・奥山会長；私立高専としての成り立ち等について資料を示しながら説明。交換会については今後の活動目標に。

(事務局；他の地区に関しては今後拡大していけるよう働きかけをしていく。)

- ・参加同窓会の拡大について：

事務局として各地区の世話役同窓会を支援しながら、機構との連携を通しても働きかけていきたい。各校の事情などを加味する必要もあるが、連合会の主旨をしっかりと届けていく。

- ・ふるさと納税への取り組みについて：

ふるさと納税の仕組みを通して学校の学生支援の財源を間接的に確保しようという取り組みが佐世保高専、弓削高専、松江高専など数校で始まっている。各自治体と学校の調整によって実施されており、同窓会が同窓生に働きかけて納税した一部が学校の学生支援の財源として還付される仕組み

みである。都城高専田村校長からもふるさと納税が活発な都城市の紹介を含めて詳細な説明と、是非各校でも取り組んでほしいとの提案があった。行政サイドと学校の橋渡し役として同窓生がいるところは上手くいっているらしいとも。

・高専機構との連携について：

連合会顧問田村校長より、徳山高専同窓生であるご自身の経歴と経験を通して、同窓会の役割の重要性と活動の活性化の為に組織の拡充を図る必要性からも、連合会の存在と役割は重要だとの指摘があった。また、資料を基に高専機構で行われている具体的な事業について紹介があった。重ねて現在 4 名の高専卒の国会議員がいるので協力して力を発揮していただきたいと紹介。

高知高専同窓生である梶原大介参議院議員から、4 人の議員はそれぞれ所属党派が異なるために交流は余りないが、今後機会を作って協力していきたい。各産業分野での高専卒業生の活躍を考えるとその重要性はますます高まるので、しっかりと受け止めていきたい旨の発言があった。

(事務局；地方にも高専卒業の議員や首長が多数活躍しているので、その情報も共有していけたらいいと考えている)

④ その他

同窓会活動に関して、会費の徴収、会報の発行、在校生支援、事業活動などの現状や問題点などの意見交換を行った。

- ・会報の発行について：発行と配布などの経費の面から、どの同窓会でも検討の時期に入っている。既にHPでの閲覧に切り替えたところもあり、切り替えを決定したところもある。会員同士の情報共有などのリスクはあるけれど。今回は各校に会報の提供をお願いして、多くの賛同を得た。各同窓会の状況が分かるのではないかと。来年度も継続してほしい。
- ・会費の徴収について：九州地区ではコラボ九州での情報共有によって、ほぼ全校で学校に代理徴収してもらい同窓会口座への振込をお願いしている。入学時と卒業時に徴収している。ただ、北九州高専（阿部会長）では、徴収した会費は学校の総務課の管理の下で運用しているとのこと。阿南高専（横手会長）、函館高専（宇美会長）では代理徴収はしているが学校の支援の面で問題意識を持っている。（機構としては特に判断はなく学校ごとの事情は調査してみるとのこと）
- ・その他；高知高専（久保会長）からは教員公募制への疑問とKOSENへの名称変更に関する提案があった。また、阿南高専（横手会長）からは少子化による定員割れのリスクは地方では喫緊の課題であり、教員の補充に関しても人材不足の懸念がある。共通の問題として機構の支援が必要だとの指摘があった。

(機構として、各産業界からも人材を求めているが確保は難しい。高専卒業の人材があればいいのだが、機構としても対応を考えているとのこと)  
高知高専から連合会への参加校が少ないのはなぜか。高知が初めて参加した折には機構から学校への強い要請があったと聞く、そういう働きかけも必要ではないかと提案があった。

(事務局；今回も機構には各校へ参加要請をしてもらった。田村顧問；全国高専連合会の会合でも提案をしている。同窓会連合会のPR不足と会費の徴収も壁ではないか。事事務局；会費を徴収しないのも一つの選択肢と思う)

それぞれの提案や指摘に対する感想など参加者から活発な意見交換がなされた。個別の意見交換は懇親会の席に譲ることとした。

#### 6、閉会挨拶

朝永より、熱心な議論への感謝と、会の発展と来年の再会を期して閉会の挨拶。

#### 7、写真撮影

#### 8、懇親会

会場を移して懇親会。名刺交換と個別な情報交換で2時間。盛会であった。

以上

#### 参加同窓会 (オブザーバー含む)

旭川高専同窓会 函館高専にいばり会 育英学院同窓会 [サレジオ高専]  
東京高専同窓会 米子高専同窓会 松江高専同窓会 阿南高専悠久校友会  
高知高専校友会 広島商船高専校友会 北九州高専雄志会 佐世保高専同窓会  
有明高専有友倶楽部 大分高専明愛会

#### 欠席返信同窓会

鶴岡高専峰友会 福井高専進和会 石川高専同窓会 奈良高専同窓会  
和歌山高専同窓会 鳥羽商船高専同窓会 津山高専弥生会 徳山高専同窓会  
宇部高専しらとり会 大島商船高専同窓会 都城高専深山会

## 全国高専同窓会連合会役員名簿（2025年）

顧問	田村 隆弘	都城高専校長
会長	村上 孝志	旭川高専同窓会 顧問
副会長	青木 繁美	大分高専明愛会 顧問
々	中山 隆志	広島商船高専校友会 会長
理事	久保 英明	高知高専校友会 会長
々	樋渡 信一	佐世保高専同窓会 会長
		(近畿地区・東海地区・関東地区・東北地区各代表予定)
監事	岡 秀昭	有明高専有友倶楽部 会長
々	川村 宗弘	徳山高専高城会 会長

## 全国高専同窓会連合会事務局

事務局長 佐世保高専同窓会 朝永憲法

Email:kenpou@tuc.bbiq.jp tel:090-8911-5493

々（ホームページ担当）北口功幸

広島商船高専校友会 清田耕司

有明高専有友倶楽部 原田義史

大分高専明愛会 福隅郁生

々 青木繁美

### 追記事項：田村顧問から高専機構への確認事項

同窓会費の集め方に関連した高専機構の規則が確認できましたのでご報告いたします。

要点は、

- ・学校が新入生から入学金を徴収するのと同じタイミングで、また、同じ口座を使って一括で同窓会費を集めて、その後、学校が同窓会に同窓会費分を一括で渡す（口座振り込みする）ことは可能
- ・ただし、その際に、個人情報管理の関係で「納付者情報は学校から提供できない」ので、学校から同窓会へは、総額のみをお知らせして振り込むことになる。（ただ、入学生の場合、全員が入会する可能性が高い。）

以上です。

注意事項

- ・学校が新入生から入学金を徴収するのと同じタイミングで、また、同じ口座を使って一

括で同窓会費を集めて、その後、学校が同窓会に同窓会費分を一括で渡す（口座振り込みする）ことは可能です。

ただし、先のメールの二つ目の・については、間違っていないですが、本来、学校が一時預かり金として同窓会から入会費を預かる際には、入会が決まった人の振込みを（振込み者が明確であることをもって）引き受けるべきですので、誰が振り込んでくるのか分からないお金に対して、学校が預かる窓口を用意することはできないということです。

分かりにくくて申し訳ありませんが、会費の振込みを学校にお願いされる同窓会におかれましては、この点、学校側と相談の上、対応頂きますようお願いいたします。